

専門知識不要のOSS脆弱性管理を実現

～ OSS脆弱性管理サービス 活用 ～

課題

- 様々な入手元のOSSの脆弱性情報をひとまとめに表示・管理したい
- 毎日、脆弱性情報を提供しているサイトで確認するのは大変
- 見つけた脆弱性の影響度が判断できない

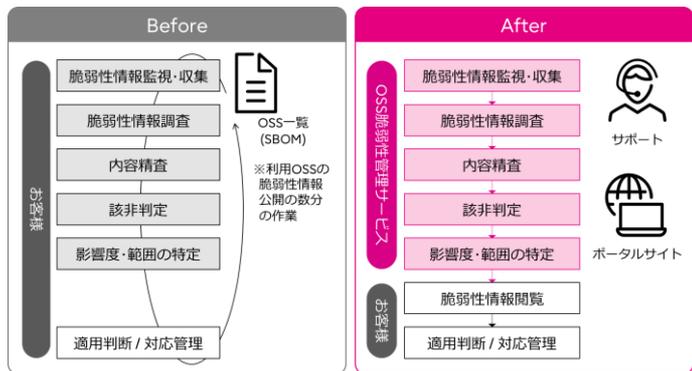
効果

- 管理対象のOSS一覧（SBOM）を提示するだけで脆弱性情報をまとめて管理ができる
- 管理対象のOSSの脆弱性情報を効率的かつ迅速に確認できる
- 脆弱性の内容の精査や該非の判定を終えた情報が提供されるので、セキュリティの専門知識が無くても管理できる

適用のポイント

セキュリティの専門知識を必要とせず、

運用コスト削減や対応漏れ防止が可能なOSS脆弱性管理



Point

1

管理対象のOSS一覧（SBOM）を提示するだけで管理できる

OSS脆弱性管理サービスが、お客様より提示された管理対象OSSの脆弱性を常時監視します。お客様は、脆弱性情報ポータルにアクセスすれば、脆弱性情報の確認と対応漏れの無い管理ができます。

Point

2

脆弱性情報を効率的かつ迅速に管理できる

監視対象のOSSに脆弱性が見つかると直ぐにポータルサイトで通知するので、ブラウザを見るだけで、効率的かつ迅速に管理でき、運用コストの削減ができます。

Point

3

セキュリティの専門知識が無くても管理できる

OSS脆弱性管理サービスが、脆弱性情報提供サイトの誤った情報などの内容を精査します。また、お客様の管理対象OSSが該当するかしないかの判定を終えた情報を提供します。よって、お客様は、修正バージョンを確認し、対応の判断などを行うだけです。

- 富士通のLinuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、下記お問い合わせページよりご依頼ください。

Linux情報へのお問い合わせ

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/>